



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療
患者の人權と意思を尊重します

診療3本柱
がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療
地域の医療機関と連携し安心して医療の展開を行います

地域包括ケア
地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献
災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成
地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

第56回地域協議会 リモート会議開催



令和2年11月16日に第56回地域協議会を開催しました。今回は新型コロナウイルスによる感染予防の観点から、初めてのリモート会議としました。

地域協議会は、人吉市医師会、球磨郡医師会、人吉市歯科医師会、球磨郡歯科医師会、人吉球磨薬剤師会、西諸医師会、伊佐市医師会の代表者、行政、学識経験者から構成されています。当院が地域の医療機関の医師並びに歯科医師などからの要請に適切に対応し、地域の実情に応じた運営を行うことを目的としています。

今回は、人吉・球磨豪雨災害、新型コロナウイルス感染症の対応について意見交換を行いました。

豪雨災害については、人吉医師会からは28医療機関が被災し、地域協議会議長の岐部明廣議員が院長を務められる外山胃腸病院も190m浸水し、現在の復旧作業の進捗状況についてお話がありました。

その他、人吉市より被害の状況や災害対応について、人吉保健所や人吉歯科医師会からも防災から今日までの、それぞれの取り組みについて報告を行っていただきました。

新型コロナウイルス感染症については、人吉球磨・えびの市・伊佐市では現在新規患者の報告はなく、それぞれの地域にて陽性患者への受け入れ体制や発熱外来など、医療体制整備の状況報告が行われ、各地域の状況把握を行うことができました。人吉保健所 剣陽子議員からは「人権侵害や差別、偏見がいまだに著しく存在するため、地域の皆様への地道な啓発をお願いしたい」との要望があげられました。

今回は初めてのリモート開催となり、声が途切れてうまく聞こえなかったり、映像が止まってしまうなど課題が見つかりました。今後もリモート会議を行う機会が増えていくと考えられるため、今回の経験を活かし、スムーズに開催が行えるよう改善していきたいと思います。

医療福祉連携室 高橋 薫子

人吉医療センター地域協議会議員（敬称略）		
種別	所属機関名	氏名
医療関係	人吉市医師会	岐部 明廣
	人吉市医師会	山田 和彦
	公的病院	大島 茂樹
	球磨郡医師会	犬童 裕成
	球磨郡医師会	近藤 浩之
	人吉市歯科医師会	清水 雅英
	球磨郡歯科医師会	山村 礼二
	西諸医師会	河内 謙介
	伊佐市医師会	水間 良裕
	人吉球磨薬剤師会	村田 圭介
行政	熊本県人吉保健所	剣 陽子
	人吉市	吉吉 眞二郎
	えびの市	原田 和紀
	伊佐市	宇都宮 安照
学識経験者・利用者 当院	人吉市教育委員会	末次 美代
	人吉医療センター	木村 正美
	人吉医療センター	下川 恭弘
	人吉医療センター	石神 哲郎
	人吉医療センター	渡辺 朋子
	人吉医療センター	作元 功

検査体制の拡充と検体採取技術を磨く ～新型コロナウイルス感染症 当院での取り組み～

国は、これまでの相談体制や診療・検査体制から大きく流れを変え、インフルエンザの流行期に備えた新型コロナウイルス感染対策整備として「診療・検査医療機関」を指定しました。この医療機関は、発熱患者の動線を確保し、発熱患者の診療及び新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスの検査を行います。当院も10月に指定を受け、新たに「発熱外来」「検体検査室」を整備し発熱患者に備えています。さらに、検査を行う

技術職へ検体採取技術研修を行うことで採取検体の質が保てるようにしました。

都市部における患者数の急激な増加は、第3波の到来を思わせる勢いです。いつ、どこで誰が感染してもおかしくない状況です。引き続き、感染対策を行い。自身を守り、患者を守るための行動を全職員で取り組みます。

感染管理室 別府 るみ



検体採取技術研修の様子



検体採取室



e レジフェア 2020 西日本オンライン説明会

～初期臨床研修説明会～

11月1日(日)医学生を対象とした初期臨床研修病院説明会『e レジフェア 2020 西日本オンライン説明会』に、プログラム責任者の薬師寺副院長と当院基幹型研修医2年目の高津研修医、富野研修医と事務の花牟禮の4名で参加しました。例年であればリアルイベントで開催されますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン説明会となりました。

説明はスライドを使ってリレー形式で行い、初めに薬師寺副院長より病院概要や特色、研修プログラムの説明、次に研修医が実際の研修状況と経験症例、そして「人吉医療センターではこの研修ができる!」をアピール、最後に事務より募集要項や福利厚生についての説明を行いました。その後、参加していただいた学生の皆さんから「日直について」や「当院の予防医療への取り組み」「緩和ケアの研修ができるか」等質問をいただきました。

今回は13名の学生の皆さんが当院の説明会に参加していた



できました。本当にありがとうございました。病院見学は随時受付しておりますので、今回興味を持っていただけた方、残念ながら参加いただけなかった方、是非、お電話・メールでご連絡ください。お待ちしております。

また、当院は令和3年度初期臨床研修医を2次募集中です。お問合せのみでも大丈夫ですので、お気軽にご連絡下さい。

TEL : 0966-22-2191 (代表)

Mail : soumu@hitoyoshi.jcho.go.jp

担当 : 総務企画課 花牟禮由美

臓器移植普及推進月間

毎年10月は「臓器移植普及推進月間」として広く全国において、臓器移植への理解が進むように普及啓発の取り組みを行っています。臓器移植法が制定された10月16日は、家族や大切な人と「移植」のこと、「いのち」のことを話し合い、お互いの臓器提供に関する意志を確認する日「グリーンリボンデー」とされています。

当院でも2Fエスカレーター横の通路にブースを設け、臓器移植に関するパンフレットの配布と、日本臓器移植普及ネットワークより提供いただきました映像を放映しました。

提供される臓器は、生きている私たちが亡くなる時にできる最期のボランティアと言われてます。臓器を提供できる適応基準として、心臓:50歳以下、肺:70歳以下、腎臓:70歳以下、脾臓:60歳以下、小腸:60歳以下が望ましいと言われています。しかし、この年齢を超えた方でも医学的に提供が可能な場合もありますので、年齢に関係なく意志をご記入ください。また、角膜は年齢制限がなく、白内障や緑内障などの病気でも角膜が透明であればご提供可能です。なお、熊本県下での角膜の提供は平均して年間10件前後の提供があります。さらに人吉球磨



地域では平成30年に3例の提供がありました。現在提供は減少傾向です。

臓器提供の意思表示方法として、運転免許証・マイナンバーカード・健康保険証の裏に記載する、臓器提供意思表示カードの所持、また、遺言書やその他の書類などがあります。そして意思表示が無い場合、ご家族の申し出も有効になります。公正証書遺言書(公証役場で公証人に作成してもらう遺言書)を除いて、最終的にご家族の同意が必要になりますので、お元気なうちからご家族に自分の意志を伝えて理解してもらう必要があります。

今後もひとり一人が臓器提供について考え、普段からご家族などと話し合いご自身の意志が尊重できるようにしておくことが大切です。当院でも臓器移植普及啓発活動を行いたいと思います。

臓器移植院内コーディネーター 杉松 紗織

当院の女性医師紹介

新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨の影響で、懇話会や研修会等の開催ができず、医師の紹介ができていなかった為、改めてご紹介させていただきます。今回は、当院で活躍する女性医師のご紹介をさせていただきます。

麻酔科 Dr. 荒木 美貴 先生にインタビューを行いました。



① 麻酔科の先生のお仕事とは？

翌日に手術を控えている患者さんに対し、その前日に問診をしたり、リスク評価をしたり、診察を行います。基本的には、手術室にて術中の麻酔管理を行っています。長いときには、12時間以上の手術に携わることもあります。

② 人吉・球磨地域の印象はいかがですか？

のんびりしている。人が優しいし、親切ですね。

③ ご自身の性格や趣味、コロナ禍でのストレス対処法は？

旅行が好きです。人吉に来た頃は、温泉によく行っていまし

た。すぐ入れるところがいっぱいありますね。人吉だけでなく球磨地域にも足を運び、風景と共に温泉を楽しんだこともありました。現在は、コロナ禍で難しいところもあり、家の中で過ごすことが多いです。

④ 今後の抱負をお願いします！

ご家族や自宅の近くで病気の治療をしたい、手術をしたい、と希望される患者さんが多い印象です。ですから、当院でできる手術は、できるだけ受け入れたいなあ、と思います。開業医の先生方には当院での手術に繋いでいただくことも多く、ありがたく感じています。

みなさんこんにちは。総合診療科の福司山 真妃（ふくしままき）と申します。

福岡県二日市済生会病院で初期臨床研修を終え、本年度から人吉医療センター 総合診療科 専攻医として赴任しました。私は、出生から高校卒業まで人吉球磨で生活をしていました。この地域にたくさんの恩があり、少しでも地元貢献できればと思い、当院を希望させていただきました。

総合診療科は、臓器・疾患だけを診るのではなく、患者さん

の心理や社会的背景も総合的にマネジメントする科です。患者さんとその家族の気持ちに添いながら最良の医療を提供できるように日々精進して参ります。

医師だけでなく、コメディカルとの連携もとても大切です。多くの方々に協力をお願いすることが多々あると思いますが、何卒宜しくお願いします。



総合診療科
福司山 真妃

2020年4月から人吉医療センターの産婦人科で勤務させていただいております、下川理沙と申します。地域の拠点病院として、周産期診療や更年期・老年期医療、月経困難症などの女性ヘルスケア、婦人科腫瘍など、産婦人科全般の診療に取り組んで参ります。女性のライフステージ寄り添った医療を提供し、少しでも地域医療に貢献できればと思います。まだまだ至らぬ

点も多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



産婦人科
下川 理沙

いつも大変お世話になっております。また、この度の水害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。今年度より小児科に赴任しました西智美と申します。

3月までは熊本労災病院で勤務しておりました。6月に入籍し苗字が中村になりましたが、仕事上は旧姓のままで続けたいと思いますので、引き続き宜しくお願い致します（厚労省の医師検索は西だと出ませんが、モグリではないのでご安心下さい…笑）

今回専門分野の話や趣味の話などの事でして、専門は決めているので趣味の話です。人吉・球磨地域はキャンプ場や温泉が多いので、こちらに来てから主人と2人でキャンプに行く頻度が増えました。とはいえ初心者な上、空いた時間はアニメの動画を見たり、ポケモンGOをしたりなど、ゆるいスタンスで楽しんでいます。

寒くなりつつあるこの時期、試してみたいのが薪ストーブ！以前熊本のアウトドア用品店で主人が衝動買いし、初めて使ってみたところテントが焦げました…。薪ストーブの煙突がどれだけ高温になるのかがよく分からないまま、煙突ガードも使用せずテント内にストーブ置いたという、まあ自業自得なのですが、それ以来怖くて使わずじまいでした。しかし今の自宅は最寄りのキャンプ場から車で約10分、最悪テントが燃えてもすぐ帰れるので、防災グッズを揃えている所です。

引き続き人吉ライフを楽しみつつ、仕事も頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。



小児科
西 智美

2020年9月より当院で形成外科診療を始めさせて頂きました、松本由希子と申します。形成外科は「体の表面の何らかの問題点を、外科的治療によって治療する科」であり、皮膚・皮下腫瘍の手術、ケガの縫合、ケロイドの治療など、体の表面のなんでもやさんのような診療科です。人吉ではまだまだ馴染み

が少ない診療科ですので、何かあれば気軽にご相談ください。地域の皆様のお力になれるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。



形成外科
松本 由希子

登録医レポート 令和2年7月豪雨を経て

令和2年7月豪雨で当院の登録医の先生方も多く被災されました。4ヶ月が経った今、多くの医療機関が診療再開をされておりますが、引き続き復興に向けた活動を継続されております。今回、登録医である たかはし小児科内科医院 高橋耕一先生、球磨村診療所 橋口 治先生より当時の被災状況や診療再開に向けて等、当時の大変な経験についてコメントをいただきましたのでご報告します。

診療再開しました！ ～たかはし小児科内科医院～

Q 7/4以降の状況を教えてください。

今回の水害で当院は、1階の天井近く（高さ2m20cm）まで浸水しました。1階のレセコンや画像サーバーを2階へ上げるなどの対応に追われる最中、当時6:30頃に1階に水が上がってきました。あっという間に周囲の道路も冠水し、避難できない状況になったため、2階へ垂直避難をして、さらに屋根裏から屋根へ登らないといけない状況まで迫る勢いでありました。H10年に開業して22年になりますが、球磨川沿いにあるため、今までに避難勧告を受けることもあり、一度だけ避難所へ避難した経験がありますが、今回の災害は初めての体験でした。

Q再開はいつからですか？

2020年10月26日より診療再開しております。

Q現在の診療状況を教えてください。

通常診療を行っております。

これからのインフルエンザワクチン接種や新型コロナウイルス感染症の対応等に向けて、業者さんへ依頼しリフォームの工期を早めてもらいました。時間はかかりましたが、おかげでしっかりリフォームが出来て、安心して診療ができる環境が整いました。

Q今後の予定を教えてください。

人吉球磨地域は小児科が少ない地域であり、当院はその数少



ない一つの医院でもあります。

これからも患者、家族さんが不安な時にはすぐに対応できる体制づくりに寄与していきます。

Q地域の方へ一言お願いします。

新型コロナウイルス感染症を心配され、小児科の定期の予防接種や乳幼児健診などを控えられている方も多いかと思いますが、日本小児科学会において、それらを回避することでのデメリットは大きいと考えられておりますので、遅らせず受けて欲しいと思います。また、心配な時にはかかりつけ医を受診して下さい。

人吉球磨地域全体が復興して欲しいと願っております。

たかはし小児科内科医院 高橋 耕一

令和2年7月豪雨に被災して ～球磨村診療所～

令和2年7月の豪雨から4ヶ月が経ちました。7月3日から7月4日にかけての豪雨は経験したことのない激しいもので、4日早朝には近くを流れる球磨川が氾濫し、午前9時過ぎには診療所前の道路は川になってしまいました。私は診療所隣の宿舎の2階に垂直避難しました。その後も濁流は診療所周囲を洗いましたが、午後になって水が引きました。診療所に行ってみると玄関の戸は打ち倒され、廊下には大量の漂着ゴミが堆積し、足の踏み場もない状態でした。戸を隔てた診察室、処置室も1mくらいの高さまで泥水が流れた跡があり、床は一面泥水に覆われ、ほとんどすべての医療機械がダメになっていました。カルテも一部が泥水に洗われていましたが、薬棚の薬は大半が無事で、薬とカルテを宿舎に運びました。その後避難所からの依頼を受けて宿舎で薬の処方を続けました。7月8日から自衛隊の方々が来てゴミや泥水を除去してくださり、診療所は見違えるように綺麗になりました。DMATの方々にもお世話になり、7月15日午後から診療所での診療を再開することが出来ました。その後も引き続きDMATや熊本日赤の方々の援助を受け、医療機器も徐々にそろって来て、現在は豪雨前とほぼ同じ程度の診療を行なうことが出来る状態にまで回復しました。今回多くの方々のご援助の有り難さを痛感させられました。また、今回の災害を通して熊本メディカルネットワークの有用性を初めて学ばせて頂きました。7月14日の、まだ電話もFAXも使えない状況の時に熊本医師会からスタッフの方が来られ、熊本メディカルネットワークが使用できるように機器を持って来てセットしてくださいました。おかげで遠方に避難されている患者さんの処方箋を



避難所や薬局に送付したり、診療情報提供書を送付したりすることが出来ました。今回の災害は大変な経験でしたが、一方では色々学ばせて頂きました。今後は今回の経験を生かしていきたいと思っています。

球磨村診療所 橋口 治

くまもとメディカルネットワーク研修会
災害で活躍したICT 登録医医師、薬剤師へレクチャー

10月23日当院にて球磨地域在宅医療サポートセンター（人吉医療センター）の取り組みとして、くまもとメディカルネットワーク（以下、K M N）の研修会を開催しました。今回は実際にK M N端末を用いた操作方法のレクチャーをメインで行うため、人吉市医師会担当理事の万江病院 万江先生、田中医院 田中先生、事務員坂本さん、人吉球磨薬剤師会会長のクスノキ薬局御薬園前店 村田先生、人吉医師会事務の簗田さんと少人数で行いました。

まず当院でのKMNの取り組み、当地域の参加同意数の状況、令和2年7月豪雨での活用事例について説明を行いました。その後、参加者の皆さんに実際にKMN端末を操作してもらい、診療情報ビューアの閲覧、文章送受信や画像取り込みなど

の操作方法やお知らせメール登録等を行ってもらいました。

参加者からは「実はまだ触ったことがなかった。少しずつ使ってみます。」「少人数で開催が良かった。」「Dr だけでなく事務員さんも一緒に参加した方がいいと思う。」「今後もこのような研修会を行ってほしい。」などのご意見をいただき、人吉市医師会、人吉球磨薬剤師会、当院とで協力して地域での KMN 活用を進めていくことになりました。

今後も新型コロナウイルス感染症対策にも十分留意して、このような研修を企画し、K M N が地域の関係機関に幅広く活用され、よりよい情報共有が行えればと考えています。

球磨地域在宅医療サポートセンター（人吉医療センター）
医療福祉連携室 田頭 隼人

水害対応について

令和2年7月4日(土)8時23分、人吉市内を流れる球磨川で河川堤防を越え氾濫が発生し、8時30分頃に当院にも正面玄関の浸水が始まったため、勤務者・自主参加者にて1階フロアの出入口に防水板を8か所設置しました。

実際は 70 cm 程度水が押し寄せて来たものが、防水板を設置したことで院内浸水を 10 cm 程度に食い止めることができました。防水板が有効に働いたことで 1 階に集中している放射線機器・その他医療機器も残り数センチのところまで浸水を免れ、被害を最小限に抑えられたとともに、診療の早期再開にもつながりました。

水害時の防災板の設置について、在院スタッフが防水板の設置に不慣れで、取付け方が甘かった個所もあったため、水害後の8月25日に全職員を対象に防水板設置の研修会を行い緊急非常時にスタッフ誰もがすぐに防水版を正しく設置できるよう、設置場所・設置方法・取付けまで研修を行いました。

新たにボックスウォールを正面玄関ドア外に設置し、防水板を2重にすることで院内浸水を防ぎ、被害を抑えるように考えています。

今後災害対応にむけて、早めに情報収集・伝達・事前準備し
迅速に対応できるようにしていければと思います。

総務企画課 平山 文睦

令和2年7月豪雨 被災された方は病院等の窓口負担なしで受診できます【令和2年10月改訂】

○災害救助法の適用市町村にお住まいで、下記の対象保険者に加入されており、次の①～⑤のいずれかに該当する方は、医療機関、介護サービス事業所等の窓口でその旨を口頭でご申告、または免除証明書を提示することで、医療保険の窓口負担や介護保険の利用料について支払いが不要となります。(令和2年12月末まで)

- ①住家の全半壊、全半焼、床上浸水又はこれに準ずる被災をされた方
- ②主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負われた方
- ③主たる生計維持者の行方が不明である方
- ④主たる生計維持者が業務を廃止、又は休止された方
- ⑤主たる生計維持者が失職し、現在収入がない方

下記市町村にお住まいの方は、窓口で免除証明書の提示が必要です

国民健康保険・介護保険（水俣市、津奈木町、多良木町、水上村、山鹿市、長洲町、南小国町）

- ・窓口での申告内容は、後日、保険者から確認が行われることがあります。
- ・県外の医療機関等でも同じように受診できます。
- ・入院・入所時の食費・居住費などはお支払いいただく必要があります。
- ・上記以外の保険者の取り扱いは、各保険者にお問い合わせください。

○保険証なしでも医療機関等を受診、介護サービスを利用できます。

○免除証明書の申請方法など、この取扱いにご不明点があれば、ご加入の各保険者にお問い合わせください。

令和2年7月豪雨

**被災された方は
病院等の窓口負担なしで受診できます**



令和2年10月改訂 **熊本県**

○災害救助法の適用市町村にお住まいで、下記の対象保険者にご加入されおり、次の①～⑤いずれかに該当する方は、医療機関、介護サービス事業所等の窓口でその旨を口頭でご申告、または免除証明書を提示すること、医療機関等の窓口負担や介護保険の利用料について支払いが不要となります。（令和2年12月末まで）

- ① 住家の全半壊、全失壊、床上浸水又はこれに準ずる被害を受けた方
- ② 主たる生計維持者が死亡し又は主たる収入源が一時的に喪失された方
- ③ 主たる生計維持者の所得が平常時より減少した方
- ④ 主たる生計維持者が失業をした方、又は扶養された方
- ⑤ 主たる生計維持者が失踪し、現在収入がない方

対象保険者

国民健康保険・介護保険（ハレ世代、A・吉世、水保保）、上天草市、天草市、芦屋町、津久井町、阿蘇市、美郷町、湯前町、水上町、相模村、五木村、山江村、津久井町、あまり町、荒瀬町、玉名市、山鹿市、菊池市、菊池町、南阿蘇市、和木町、八代市、宇土町、大矢野町、菊池町、玉来町、南阿蘇市、熊本県民総合運動場、熊本県青少年スポーツセンター、熊本県後援会、熊本県後援会連合会、熊本県後援会若菜会熊本三城連合会、全国保健保険協会

※印の市町村にお住まいの方は、窓口で免除証明書の提示が必要です。

- 窓口での申告内容は、後日、保険者が確認が行われることがあります。
- 医療上の急病等でも同じようにご申告が必要です。
- 入院、人用時の食費・生活費などにお支払いいただく必要がありません。
- 上記以外の保険者の取り扱いには、各保険者にお問い合わせください。
- **保険証なしでも医療機関等で受診、介護サービスを利用できます。**
- **免除証明書の申請方法なども、この保険について不明な点があれば、ご加入の各保険者にお問い合わせください。**

産婦人科外来からのお知らせ

コロナ禍や豪雨災害で、一時休止しておりました 母親学級・助産師外来を再開いたしました。

母親学級は、妊娠中の過ごし方、母乳育児について、ソフロロジー出産・呼吸法など、みんなで学び、妊婦さん同士の交流のきっかけにもなると思っていますので是非ご参加ください。



助産師外来は、妊婦健診や様々な保健指導を行っています。ご家族と一緒に超音波検査で赤ちゃんの様子を見たり、満足できる出産に向けてサポートしていきます。初めて出産される方、不安がある、母乳育児について知りたいなど、そんな妊婦さんにお勧めです。

毎週火曜日 8:30 から (60 分) 予約制です。

ご希望の方は、産婦人科スタッフにお声かけ下さい。

9 階病棟 助産師一同

吉村伯舟先生の書を寄贈していただきました

この度、長年教鞭に立たれた故黒坂晴美様のご息女の夏美様より、書家・故吉村伯舟先生作の掛け軸と額



作品を寄贈していただきました。吉村先生は当院の事務長でもあったため、夏美様より遺品整理を依頼されたかつての同僚、芋園敦子様と藤原美子様により「縁のある人吉医療センターへ」との思いで寄贈していただきました。ありがとうございます。

故黒坂晴美様のご冥福を心よりお祈りいたします。

発熱外来（予約制）のご案内

熱や風邪症状がある患者さんは「発熱外来」で診察します。

検査時間の都合があるため、必ず事前予約のうえお越しください。
(予約センター:0966-22-7878)

【月～金 8:30～16:00(祝祭日除く) /
(8:30～10:00小児科専用)】

※医療費とは別に選定療養費5,500円(保険適用外)が医療費とは別途必要です
(小児を含む)

発熱外来

月～金 8:30～16:00(祝祭日除く)
(8:30～10:00小児科専用)

発熱や風邪症状がある患者さんは「発熱外来」で診察します。
事前に電話連絡し予約のうえお越しください。

※検査時間の都合がありますので、必ず事前にお問い合わせください。(予約センター:0966-22-7878)

発熱外来

※検査料は別途必要です

検査費用は
保険適用

※検査料は別途必要です

発熱外来

※検査料は別途必要です

※医療費とは別に選定療養費5,500円(保険適用外)が医療費とは別途必要です(小児を含む)

※新型コロナウイルス検査で陽性と判定された場合は、感染病室にうつって感染症病棟で療養するなどの対応を行う可能性があります。
また、感染と認められた場合には、迅速に適切な隔離の対応がとられるため、保健所の指示に従ってください。

人吉医療センター 0966-22-7878

人吉医療センター YouTube を開設します

今年はコロナ禍のため毎年開催していましたが「病院フェスティバル」を例年通り開催することが難しくなりました。そこで、人吉医療センター YouTube を開設し、病院情報を発信することとしました。第一弾は、ACP 活動の一環として行っている当院の ACP 劇団の劇を予定しています。

食事で元気を！行事食を提供しています。

当院では月に2回行事食を提供しています。10月は例年10月9日のおくんち祭りと、10月19日の人吉総合病院時代の開院記念日に行事食を提供していましたが、今年の10月はおくんち祭りと10月31日のハロウィンに変更しました。カボチャを練りこんだカボチャ型ハンバーグと紫キャベツのサラダでハロウィンらしさを演出してみました。



これからも患者様に食事でワクワクを届けられるよう、行事食にも力を入れてきたいと考えています。

栄養課 管理栄養士 中村 利枝

10月30日のハロウィンの行事食 ハンバーグがカボチャの形になっています。

今後の行事食の予定

11/15 七五三	12/21 冬至
12/25 クリスマス	12/31 大みそか(年越しそば)
1/1 元旦(お雑煮・おせち)	1/11 成人の日

行事食の時にはメッセージカードを載せて提供しております。

新 任 紹 介



戸高 直美 (耳鼻咽喉科・看護師)

趣味: 料理作り・3人の子供たちとの公園遊び

好きな言葉: 一日一善、ありがとう

自分のコマーシャル: 仕事を少しずつでも早く覚えて、仕事に慣れ、役に立てるように頑張りたいと思います。短時間ではありますが、またよろしくお願いします。



森岡 ひとみ (歯科口腔外科・看護師)

趣味: 映画鑑賞

モットー: 過去と人は変えられない

好きな言葉: 一期一会

自分の性格: プラス思考で物事を前向きに捉える
自分のコマーシャル: 明るく元気です。よろしくお願いします。



濱崎 真弓 (内科・医療クラーク)

趣味: ドライブ

好きな言葉: 一期一会

自分の性格: 人と話す事が好きです。

自分のコマーシャル: 初めての仕事内容ですが、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

E-mail URL

